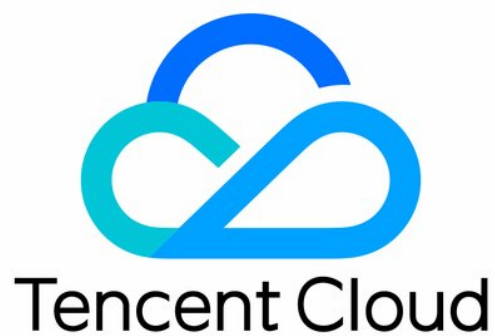


Content Delivery Network

統計と分析

製品ドキュメント



Copyright Notice

©2013-2019 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

統計と分析

統計情報概要

使用統計

アクセス統計

ステータスコード統計

オリジナルサーバ統計情報

統計と分析

統計情報概要

最終更新日：：2020-02-24 22:21:49

ユーザー側がお客様のビジネスリソースへのアクセス状況、お客様のビジネスがCDNサービスで生成した消費の統計分析情報、お客様のオリジンサーバーがback to originリクエストを受信する際に発生した帯域幅及びレート情報などデータをより透明的に把握していただくために、CDNサービスは以下の6種類のデータ分析、クエリツールを提供しています。

統計タイプ	説明
使用量	各プロジェクトと各ドメイン名はCDNサービスで生成されたトラフィックと帯域幅消費状況のリアルタイムクエリをサポートし、省別、オペレーター別の消費TOP分析、人気URL分析をサポートします
アクセス状況	各プロジェクトと各ドメイン名によって生成されたリクエスト数のリアルタイムクエリをサポートし、省別、オペレーター別のリクエスト数のTOP分析、人気URL分析をサポートします
ステータスコード	各プロジェクト、各ドメイン名がユーザーリクエストに対して返すHTTPステータスコードの統計（2XX、3XX、4XX、5XX統計を含む）をサポートします
オリジンサーバー	各プロジェクト、各ドメイン名のback to originトラフィック、レートおよび帯域幅のリアルタイムクエリを提供します
ネットワーク全体状態のモニタリング	CDNネットワーク全体のステータスを確認します
運営月報.	毎月のCDN消費に関する分析レポートを提供します

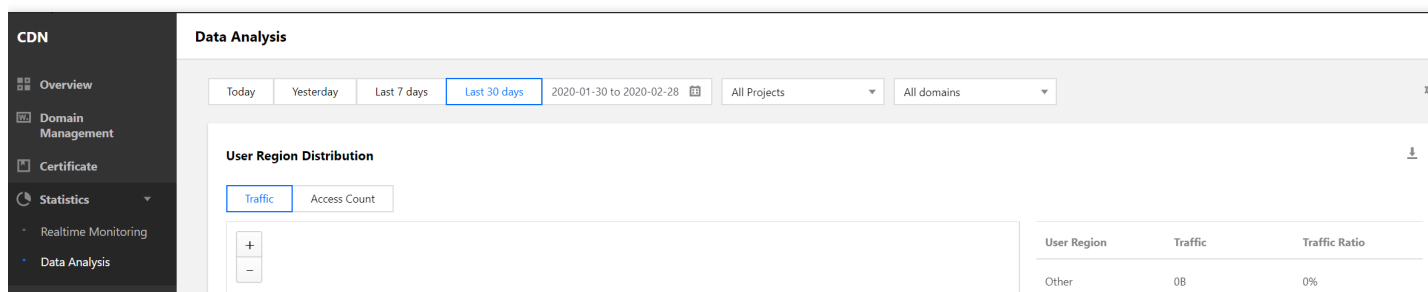
使用統計

最終更新日：2020-02-29 18:44:45

CDNコンソールでリアルタイムで帯域幅、トラフィック使用の詳細、およびキャリア、ユーザーリージョン、人気URL分析などのデータをCDNコンソールで表示できます、また、履歴データのクエリーをサポートします。

クエリー条件

CDNコンソールにログインし、左側のメニューバーの【Statistics】の下にある【使用量統計】をクリックして、** 使用量統計**ページに入ります。ページのクエリーの条件は次のとおりです。



ご注意：

- 期間：クエリーできる最も早い時間は2015-01-01で、クエリー期間は最大90日間であり、昨年分の年間データを確認できます。
- プロジェクト：プロジェクト次元での使用量のクエリーをサポートします。
- ドメイン名：指定されたドメイン名での使用量のクエリーをサポートします。
- リージョン：指定されたリージョンでの使用量のクエリーをサポートします。現在、リージョンとキャリアの二重選択はサポートされません。リージョンを選択する場合、キャリアを【すべてのキャリア】に設定する必要があります。
- キャリア：指定されたキャリアでの使用量のクエリーをサポートします。現在、リージョンとキャリアの二重選択をサポートしていません。キャリアを選択する場合、リージョンは【すべてのリージョン】に設定する必要があります。
- ネットワークレベル：エッジサーバーまたは中間ソースの使用量のクエリーをサポートします。
- 時間粒度：時間粒度は、トラフィック帯域幅データ表示の時間粒度のことです。選択可能な時間粒度は、選択され期間に関連しています。

1. 選択された期間は1日であり、5分、15分、30分、2時間、および4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。

2. 選択された期間は2～3日で、15分、30分、2時間、4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
3. 選択された期間は4～7日で、30分、2時間、4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
4. 選択された期間は8～30日で、2時間、4時間、1日ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
5. 選択された期間が30日を超える場合、4時間、1日ごとの時間粒度でのみデータをクエリーできます。

結果データの説明

使用量統計

クエリー条件を選択した後、【クエリー】をクリックして下の【使用量統計】を選択すると、トラフィック、帯域幅、トラフィック命中率の統計曲線、およびドメイン名トラフィック/帯域幅の使用詳細を表示できます。

トラフィック命中率= CDNノードキャッシュの命中によって生成されたトラフィック/ユーザーリクエストによって生成されたトラフィックの合計。ユーザーリクエストによって生成されたトラフィックの合計には、CDNノードキャッシュの命中によって生成されたトラフィックとback to originによって生成されたトラフィックが含まれます。

ご注意：

- アカウントで一度アクセスして、また削除された加速ドメイン名は、【ドメイン名】ドロップダウンメニューにグレーのフォントで表示されます。
- トラフィック、帯域幅、トラフィック命中率の最小粒度はすべて5分です。すなわち、2017-07-24 10:00:00-2017-07-24 10:04:59間の統計データは、2017-07-24 10:00:00の統計ポイントに表示されます。他の時間粒度の統計ポイントデータが上記と同じ方法で表示されます。
- リアルタイムデータのディレイは約5分です。すなわち、2017-07-24 10:00:00 - 2017-07-24 10:04:59の統計ポイントは2017-07-24 10:10:00付近に表示されます。
- ドメイン名トラフィック/帯域幅使用の詳細は、いずれもENIのデータ統計となります。
- 統計について
 1. 指定された期間内に、ドメイン名はCDNに接続されていないため、チェックされても、統計に含まれません。
 2. 指定された期間内に、ドメイン名が削除されたため、チェックされても、統計に含まれません。
 3. 指定された期間内に、ドメイン名が一定期間にアクセスせず、一定期間にアクセスして、一定期間に削除された場合、アクセスしていない期間と削除された期間の統計データはいずれも0で補完されます。

リージョン/キャリアの分布

クエリー条件を選択した後、【クエリー】をクリックし、下の【リージョン/キャリア分布】を選択すると、ユーザー・リージョンとキャリアのトラフィックとその割合を表示できます。データは降順で並べ替えられます。

ご注意：

+ユーザーリージョン分布とキャリア分布のデータは、ログを分析することで取得され、アプリケーション層のデータとなるため、【使用統計】のトラフィック/帯域幅ENIデータ統計と誤差があります。

- ピーク時のデータ統計のディレイは30分以内です。

トラフィックTOP1000 URL

クエリー条件を選択した後、【クエリー】をクリックし、下の【トラフィックTOP1000 URL】を選択すると、1件のURLリソースのトラフィックとTOP1000ランキングを表示して、人気リソースの特定に役立ちます。

ご注意：

トラフィックTOP1000 URLデータはログを分析することで取得されるため、1～2時間のディレイがあります。

アクセス統計

最終更新日：：2020-02-29 18:43:08

CDNコンソールでリアルタイムでリクエスト数、リクエスト数の命中率、およびIPアクセス回数を表示し、90日間の履歴データのクエリーをサポートします。

クエリー条件の説明

[CDNコンソール](#)にログインし、左側のメニューバーの【Statistics】の下にある【アクセス状況統計】をクリックして、** アクセス状況統計**ページに入ります。ページのクエリーの条件は次のとおりです。

ご注意：

- 期間：最新の90日間のアクセス統計情報のクエリーをサポートします。クエリー期間は最大90日間であり、アクセス統計データは90日間しか保持されません。
 - プロジェクト：プロジェクト次元での使用量のクエリーをサポートします。
 - ドメイン名：指定されたドメイン名での使用量のクエリーをサポートします。
 - リージョン：指定されたリージョンでの使用量のクエリーをサポートします。現在、リージョンとキャリアの二重選択はサポートされません。リージョンを選択する場合、キャリアを【すべてのキャリア】に設定する必要があります。
 - キャリア：指定されたキャリアでの使用量のクエリーをサポートします。現在、リージョンとキャリアの二重選択をサポートしていません。キャリアを選択する場合、リージョンは【すべてのリージョン】に設定する必要があります。
 - 時間粒度：時間粒度は、トラフィック帯域幅データ表示の時間粒度のことです。選択可能な時間粒度は、選択され期間に関連しています。
1. 選択された期間は1日であり、5分、15分、30分、2時間、および4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
 2. 選択された期間は2～3日で、15分、30分、2時間、4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
 3. 選択された期間は4～7日で、30分、2時間、4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
 4. 選択された期間は8～30日で、2時間、4時間、1日ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
 5. 選択された期間が30日を超える場合、4時間、1日ごとの時間粒度でのみデータをクエリーできます。

結果データの説明

アクセス状況統計

クエリー条件を選択すると、【クエリー】をクリックして、下の【アクセス状況統計】を選択して、リクエスト数、リクエスト数の命中率、IPアクセス回数の統計曲線、およびドメイン名アクセス状況の統計を表示できます。

- リクエスト数:ネットワーク全体のCDNエッジサーバーリクエスト数です。
- リクエスト数の命中率:パーセンテージ、命中率=(リクエスト数-back to originリクエスト数)/リクエスト数。
- IPアクセス回数:5分以内に、統計手法はすべてのリクエストがIP重複排除されてからが算出されます。

ご注意：

- リクエスト数、リクエスト数の命中率、およびIPアクセス回数統計の最小粒度はすべて5分です。すなわち、2017-07-24 10 : 00 : 00-2017-07-24 10:04:59間の統計データは、2017-07-24 10:00:00の統計ポイントに表示されます。他の時間粒度の統計ポイントデータが上記と同じ方法で表示されます。
- リアルタイムデータのディレイは約5分です。すなわち、2017-07-24 10:00:00 - 2017-07-24 10:04:59の統計ポイントは2017-07-24 10:10:00付近に表示されます。
- 90日以内にアクセスされたドメイン名は、削除されたドメイン名を含めて【ドメイン名】ドロップダウンメニューに含まれます。
- 統計について
 - 指定された期間内に、ドメイン名はCDNに接続されていないため、チェックされても、統計に含まれません。
 - 指定された期間内に、ドメイン名が削除されたため、チェックされても、統計に含まれません。
 - 指定された期間内に、ドメイン名が一定期間にアクセスせず、一定期間にアクセスして、一定期間に削除された場合、アクセスしていない期間と削除された期間の統計データはいずれも0で補完されます。

リージョン/キャリアの分布

クエリー条件を選択した後、【クエリー】をクリックし、下の【リージョン/キャリア分布】を選択すると、ユーザー・リージョン分布とキャリア分布のランキング分析を表示できます。

ご注意：

ピーク時のデータ統計のディレイは30分以内です。

リクエスト数TOP1000 URL

クエリー条件を選択した後、【クエリー】をクリックし、下の【リクエスト数TOP1000 URL】を選択すると、1件のURLリソースのリクエスト数とTOP1000ランキングを表示して、人気リソースの特定に役立ちます。

ご注意：

リクエストTOP1000 URLデータはログを分析することで取得されるため、1～2時間のディレーがあります。

ステータスコード統計

最終更新日：：2020-02-28 20:41:24

CDNコンソールで2XX、3XX、4XX、5XXステータスコードの統計状況を確認することができます。

クエリー条件の説明

CDNコンソールにログインし、左側のメニュー欄の【Statistics】の下にある【status code】をクリックして、** status code statistics**ページに入ります。ページのクエリーの条件は次のとおりです。

ご注意：

- 期間：最新の90日間のアクセス統計情報のクエリーをサポートします。クエリー期間は最大90日間です。
- プロジェクト：プロジェクトディメンションにより使用量のクエリーをサポートします。
- ドメイン名：指定されたドメイン名の使用量のクエリーをサポートします。
- ネットワークレベル：エッジノードまたは中間ソースのステータスコードに関する統計情報のクエリーをサポートします。
- 時間粒度：時間粒度は、トラフィック帯域幅データが示すの時間粒度のことです。選択可能な時間粒度は、選択された期間に関連しています。
 - i. 選択された期間は1日であり、5分、15分、30分、2時間、および4時間ごとに時間粒度のデータをクエリーできます。
 - ii. 選択された期間は2～3日であり、15分、30分、2時間、4時間ごとに時間粒度のデータをクエリーできます。
 - iii. 選択された期間は4～7日であり、30分、2時間、4時間ごとに時間粒度のデータをクエリーできます。
 - iv. 選択された期間は8～30日であり、2時間、4時間、1日ごとに時間粒度のデータをクエリーできます。
 - v. 選択された期間が30日を超える場合、4時間、1日ごとに時間粒度のデータをクエリーできます。

結果データの説明

クエリの結果は、ステータスコード統計データおよびリターンコード分布データが含まれます。

統計データの説明：

- 2XX：ステータスコード200、206の統計。
- 3XX：ステータスコード302、304の統計。
- 4XX：ステータスコード401、403、404、405、416の統計。
- 5XX：ステータスコード500、502の統計。

ステータスコード統計

このセクションの結果の中で、2XX、3XX、4XX、および5XXステータスコードの統計曲線を確認することができます。

ご注意：

- テータスコード統計の最小粒度は5分です。すなわち、2017-07-24 10 : 00 : 00- 2017-07-24 10:04:59 間の統計データは、 2017-07-24 10:00:00の統計ポイントに表示されます。他の時間粒度の統計ポイントのデータが上記と同じ方法で表示されます。
- リアルタイムデータの遅延は約5分です。すなわち、2017-07-24 10:00:00 - 2017-07-24 10:04:59 の統計ポイントは2017-07-24 10:10:00頃に表示されます。
- 90日以内にアクセスされたドメイン名(削除されたドメイン名を含む)は、【All domains】ドロップダウンメニューに含まれます。
- 統計について注意事項
 - i. 指定された期間内に、ドメイン名はCDNサービスに接続されていないため、チェックを入れても、統計に含まれません。
 - ii. 指定された期間内に、ドメイン名が削除されたため、チェックを入れても、統計に含まれません。
 - iii. 指定された期間内に、ドメイン名が一定期間にアクセスしていない、一定期間にアクセスして、一定期間に削除された場合、アクセスしていない期間と削除された期間の統計データはいずれも0で補完されます。

リターンコードの分布

このセクションの結果の中で、リターンコード、その数量の詳細および全体的な割合を確認することができます。

オリジナルサーバ統計情報

最終更新日：：2020-03-06 12:41:20

CDNコンソールでback to origin帯域幅、back to originトラフィック、back to origin速度などの統計データを表示できます。

クエリー条件の説明

CDNコンソールにログインし、左側のメニューバーの【Statistics】の下にある【オリジンサーバ統計】をクリックして、** オリジンサーバ統計**ページに入ります。ページのクエリーの条件は次のとおりです。

ご注意：

- 期間：最近30日のアクセス状況統計のクエリーをサポートします。クエリーできる期間は最大30日です。
 - プロジェクト：プロジェクト次元での使用量のクエリーをサポートします。
 - ドメイン名：指定されたドメイン名での使用量のクエリーをサポートします。
 - 時間粒度：時間粒度は、トラフィック帯域幅データ表示の時間粒度のことです。選択可能な時間粒度は、選択した時間範囲に関連しています。
1. 選択された期間は1日で、5分、15分、30分、2時間、および4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
 2. 選択された期間は2～3日で、15分、30分、2時間、4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
 3. 選択された期間は4～7日で、30分、2時間、4時間ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。
 4. 選択された期間は8～30日で、2時間、4時間、1日ごとの時間粒度でデータをクエリーできます。

結果データの説明

統計の説明：

1. back to origin失敗率統計、back to origin失敗状況分析、および404ステータスコードは、すべてログの統計分析から取得されるため、back to origin HOST次元で統計されます。例えば、
 - i. 加速ドメイン名 `www.a.com` にアクセスして、そのback to origin HOSTを `www.c.com` に設定します。
 - ii. 加速ドメイン名 `www.b.com` にアクセスして、そのback to origin HOSTを `www.c.com` に設定します。

2. この時点で、`www.a.com` または `www.b.com` の上記の関連情報をクエリーすると、結果はすべて一致して、オリジンサーバー `www.c.com` に対する統計となります。
- 3.back to origin帯域幅とback to origin速度の統計は上記のロジックに従わず、別途統計されます。

back to origin消費統計

クエリー条件を選択すると、【クエリー】をクリックして、下の【back to origin消費統計】を選択して、back to originトラフィック、back to origin帯域幅、およびback to origin速度の統計曲線を表示できます。

back to origin速度により、back to originリンクの品質をより明確に確認できます。統計期間では、back to origin速度=すべてのback to originリクエストのトラフィック/すべてのback to originリクエストの時間。

ご注意：

- ステータスコード統計の最小粒度は5分です。すなわち、2017-07-24 10:00:00 - 2017-07-24 10:04:59の間の統計データは、2017-07-24 10:00 : 00の統計ポイントに表示されます、他の時間粒度の統計ポイントのデータ表示方法は上記と同様です。
 - リアルタイムデータのディレイは約5分です。すなわち、2017-07-24 10:00:00 - 2017-07-24 10:04:59の統計ポイントは2017-07-24 10:10:00付近に表示されます。
 - 30日以内にアクセスされたドメイン名は、削除されたドメイン名を含めて【ドメイン名】ドロップダウンメニューに含まれます。
 - 統計について
- 指定された期間内に、ドメイン名はCDNに接続されていないため、チェックされても、統計に含まれません。
 - 指定された期間内に、ドメイン名が削除されたため、チェックされても、統計に含まれません。
 - 指定された期間内に、ドメイン名が一定期間にアクセスせず、一定期間にアクセスして、一定期間に削除された場合、アクセスしていない期間と削除された期間の統計データはいずれも0で補完されます。

back to origin失敗統計

クエリー条件を選択した後、【クエリー】をクリックして下の【back to origin失敗統計】を選択すると、リアルタイムのback to origin失敗率統計曲線を表示ができます。

back to origin失敗率に対応して、各back to origin失敗タイプのリアルタイム統計とその割合を表示できます。

ご注意：

$\text{back to origin失敗率} = \text{back to origin失敗回数} / \text{back to origin合計回数}$ 。back to origin失敗の判定要因

には、TCP接続タイムアウト、オリジンサーバーの切断、HTTPプロトコルの非互換性、5XXサーバー（500、502）エラーがあります。

- [クラウド監視](#) にアクセスして、CDNドメイン名およびCDNプロジェクトのback to origin失敗率に対してアラームのポリシーを構成できます。詳細については、[アラームポリシーの作成](#)を参照してください。

404ステータスコードの統計

クエリー条件を選択した後、【クエリー】をクリックして、下の【404ステータスコード統計】を選択すると、back to originによって生成された404ステータスコードの統計を表示できます。